

入稿データ作成について

■ テンプレート

弊社指定のテンプレートにてデザインを作成してください（AI）。

アートボードサイズや、デザインが配置されている位置は変更しないでください。

※システムでトリミングしているため、意図しない範囲で印刷されてしまう可能性があります。

■ 画像

解像度	300dpi推奨
カラーモード	CMYK
配置	埋め込み

■ フォント

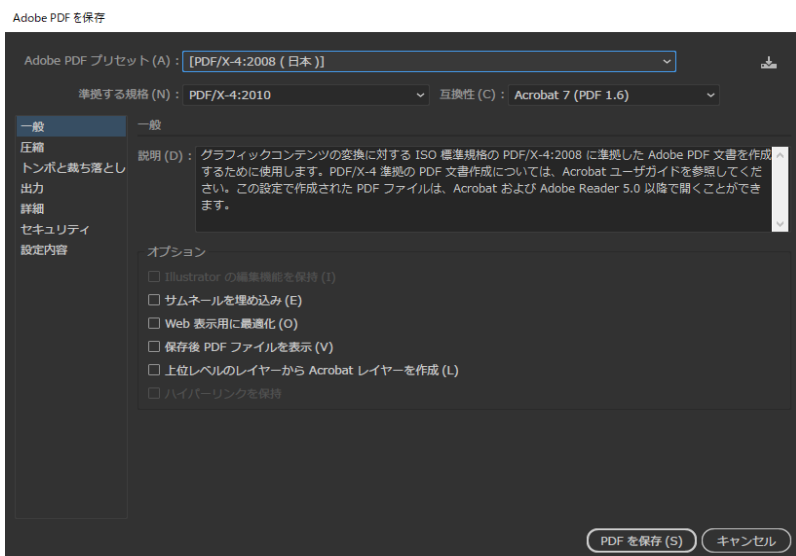
アウトライン化してください。

■ 塗り足し

基本的に不要です。テンプレート上で指示がある場合のみ作成してください。

■ 入稿データ形式

プリセット「PDF/X-4:2008（日本）」で保存したPDFで入稿してください。



■ 印刷見本画像（PDF/jpg）

仕上がり確認用のデータを添付していただく場合は、見本用とわかるファイル名にしてください。

（例：「見本」「サンプル」「確認用」など）

金属印刷データ作成時の注意点（インクジェット印刷）

インクジェット印刷では、完全データに対して直接プリンターに出力します。
イメージと同じ色になるよう下記内容に注意して下さい。

■ 仕上がりの色味

紙印刷と比較して色が沈む可能性があります。
※金属板の下地（塗料）が紙より暗い白色の為→



■ 黒ベタ

リッチブラックを推奨します。
推奨値: C50% M50% Y50% K100%
※メタルポスターのみCMYKすべて100%

※K（黒）単色は淡い黒色です（画像左）。
広範囲に印刷した場合、筋や白抜けが発生しやすくなります。

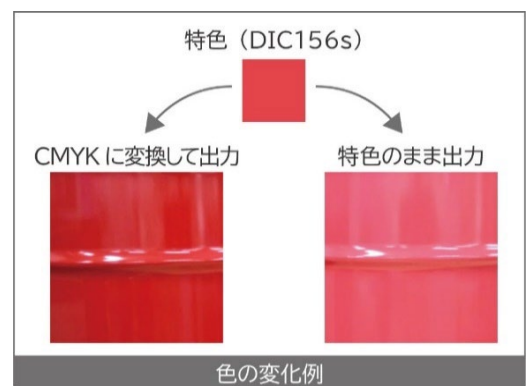


■ 特色

特色はプロセスカラー（CMYK）に変換して下さい。
特色が使用されているデータを入稿した場合、
全てCMYKでの近似色に置換されます。
その際、予期せぬ色合いになる可能性があります。

【特色→プロセスカラー変換方法（Illustrator）】

- 1) スウォッチパネルから特色を選択
- 2) スウォッチオプションを開く
- 3) カラータイプを特色→プロセスカラーに変更



白版作成方法（Illustrator：基本編 1）

1 テンプレート上の「白版」レイヤーに作成してください。

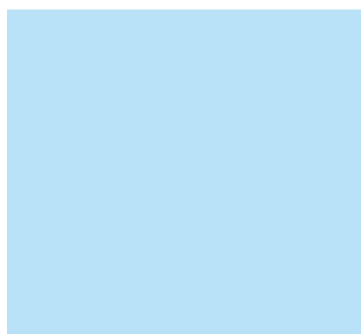
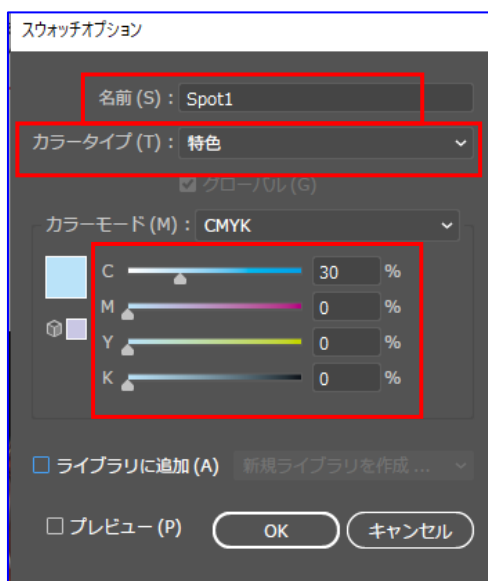
※カラーのレイヤーとは分け、必ずカラーレイヤーより順序を上にしてください。

2 特色「Spot1」の塗りで作成してください。

【「Spot1」設定方法】

スウォッチ> 新規スウォッチ

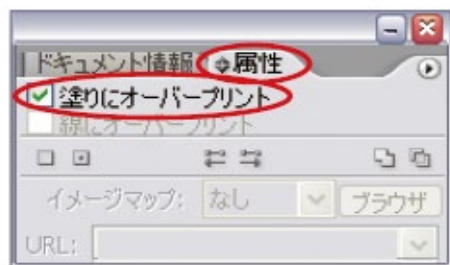
名前	Spot1 ※「spot1」では白版になりません
カラータイプ	特色
カラーモード	CMYK
CMYK	C30%



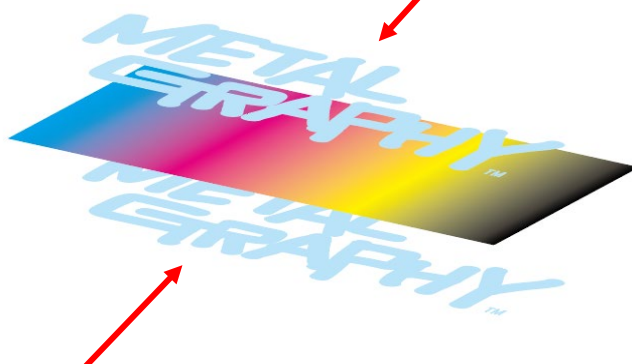
白インクを使用したいオブジェクトに「Spot1」の塗りを設定

3 カラーの下に白版を引く場合は、対象より **0.1～0.2mm** 内側に作成して下さい。

4 カラーの下に白版を引く場合は、必ずオーバープリント設定してください。



カラー（デザイン）の上に乗せる場合
…属性＞「塗りにオーバープリント」に✓しない

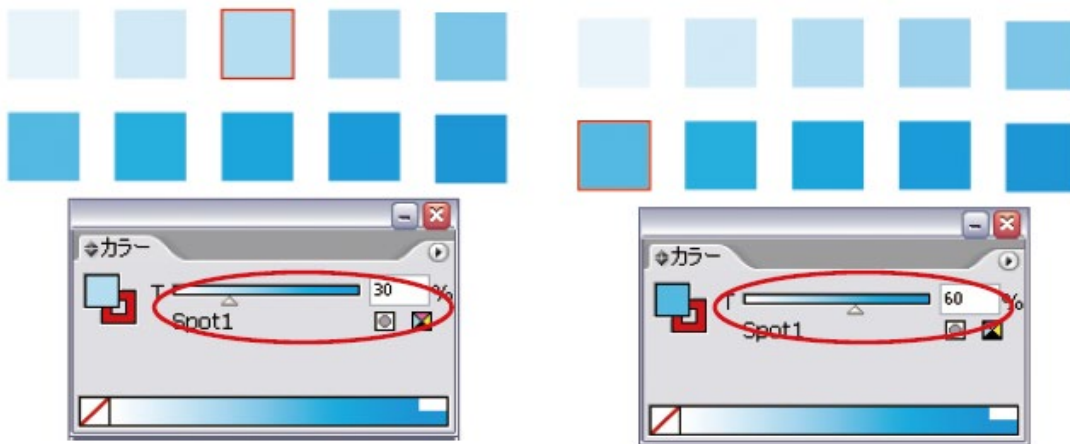


カラー（デザイン）の下に引く場合
…属性＞「塗りにオーバープリント」に✓する

※ オーバープリントプレビューで仕上がりイメージを確認してください。

白版作成方法（Illustrator：応用編① 濃度変更）

- 白インクの濃度は変更可能です。



↑ カラーパネルで濃度を変更してください。

※透明パネル＞不透明度での調整はしないでください。

白版作成方法 (Illustrator : 応用編② グラデーション)

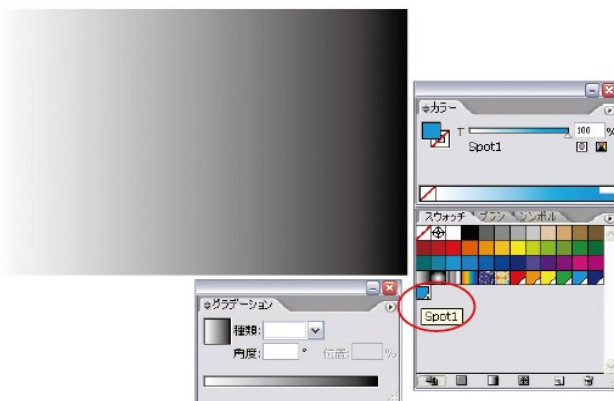
- 白インクはグラデーションの設定も可能です。



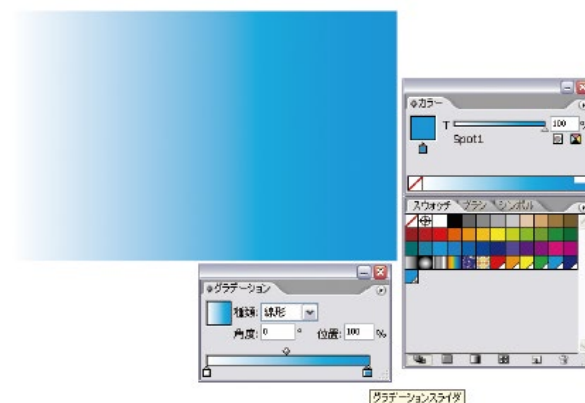
- ① グラデーションオブジェクトを用意します。



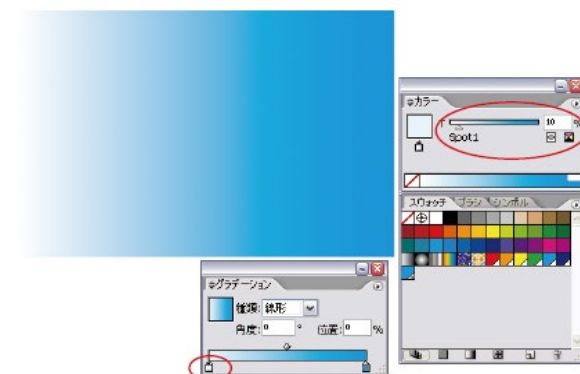
- ② スウォッチから「Spot1」を選択します。



- ③ グラデーションスライダへドラッグ

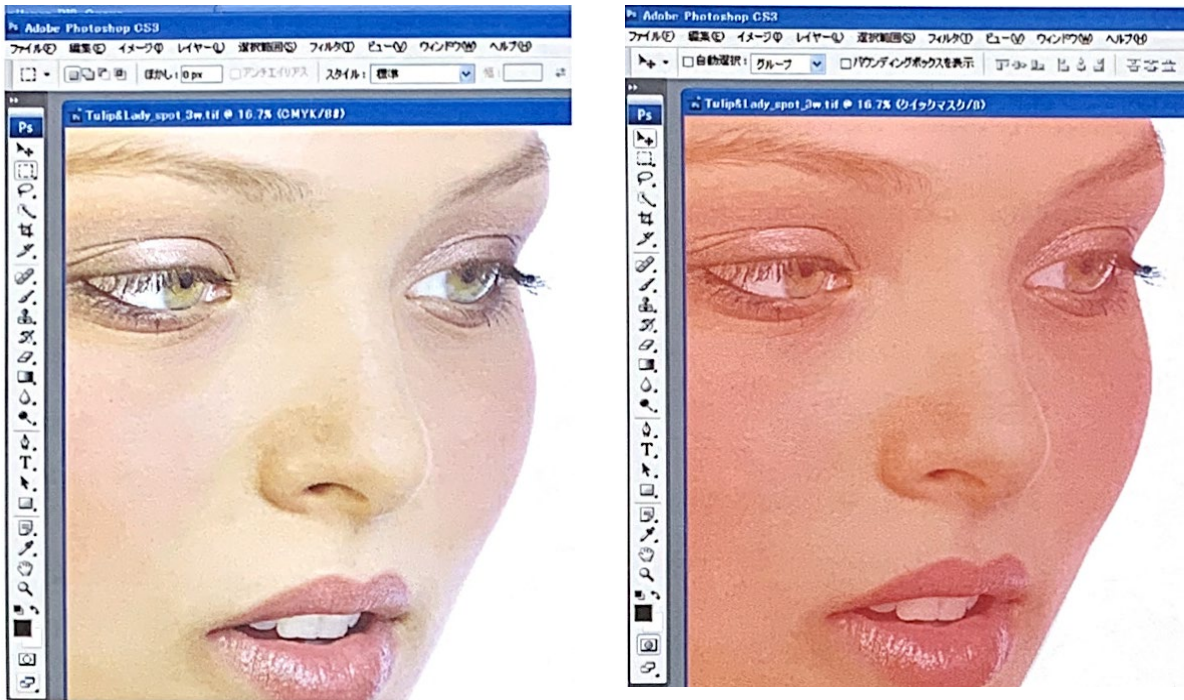


- ④ もう一方へもドラッグし、白濃度を指定



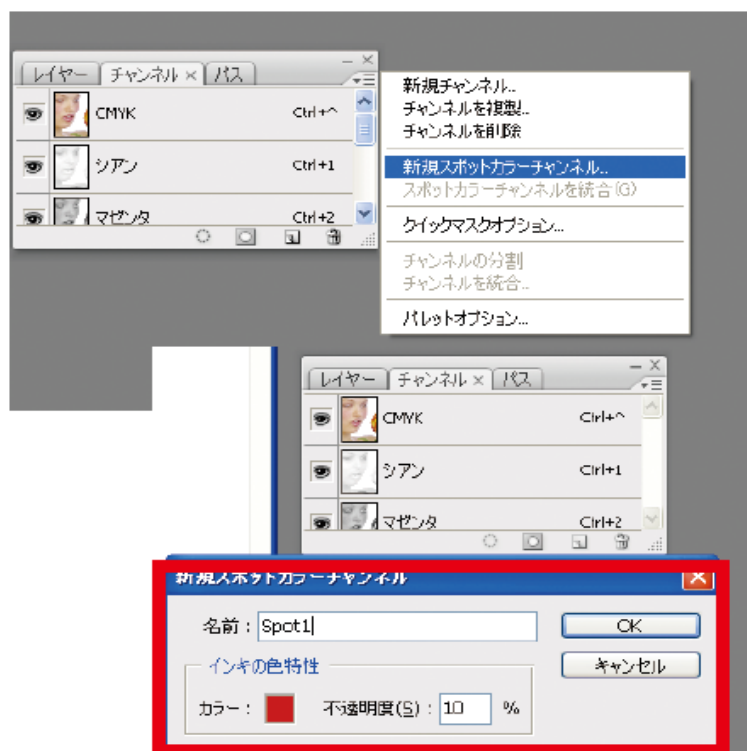
白版作成方法 (Photoshop)

1 対象を選択



選択ツールやパスを使用し、白インクを使用したい箇所を選択します。
※カラーの下に引く場合、2〜3ピクセル内側に作成して下さい

2 新規スポットカラーチャンネルの作成



チャンネル> 新規スポットカラーチャンネル

名前	Spot1 ※「spot1」では白版になりません
不透明度	任意に設定 ※不透明度は出力に影響しません

「OK」をクリックして変更を保存してください。